

## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農地整備課長 板井 丈夫 (太野垣 賢治)	内線	4003  (4016)
------	-------	---------------------	-----------------------------	----	--------------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区間	総事業費		約3億円
		基盤整備促進事業 (担い手育成型)	笹尾地区	内用地補償費		0.1億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度	
川辺郡猪名川町笹尾、清水、清水東			H15	H15	H18	
事業の目的			事業内容			
土地利用型農業のコスト低減、経営の安定強化を図るため、農地の区画形質及び道水路を整備し、機械化営農体系を確立するとともに集落営農組織への土地集積を促進する。  事業主体：川辺郡猪名川町			区画整理 7.8ha 頭首工 1箇所  (国55% 県17% 町13% 地元15%)			
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	当地区は、用水源の大半を井堰に依存し、水稻の他にトウモロコシ・山の芋等が生産されているが、現況の農地は不整形であり、道路も狭小で未整備なため、営農効率が悪く、農業従事者にとって多大な労力が負担となっている。 このような状況の中、ほ場整備の実施により、機械化や水管理の合理化を促進し、また担い手（集落営農組織）を育成することにより、都市近郊地域の有利性を活かした野菜栽培の拡大を図り、農業生産性の向上と経営の安定を確保する必要がある。					
(2)有効性・効率性	投資効率 1.50、所得償還率 17.6% 投資効率が1.0以上であり、事業としての効果が十分に期待できる。 同意率 100.0% 老朽化した頭首工を整備することにより、流域の防災効果が発揮できる。					
(3)環境適合性	道路路盤材等については再生砕石等を積極的に利用する。 地区内の要所において、現地の自然石を活用する等生態系に配慮した整備を行い、自然環境の保全・維持に努める。					
(4)優先性	当該事業で老朽化した主要用水施設である頭首工を併せて整備することにより、地域用水の安定的供給が発現できる。					